



2010年4月28日
全3枚

報道関係者各位

Levi's® 2010 Spring Campaign
「I'm Levi's®」
森山未来、菊地凜子による
「原点という生き方」をテーマとした舞台を公演

2010年6月3日(木) 東京グローブ座

<5月15日(土)よりチケット発売決定!!>

Levi's® Store 渋谷店/原宿店/Levi's® Official Online Shop(www.e-levi.jp)にて(※)

※チケットの発売方法についてのご掲載は、5/1(土)以降でお願いいたします。

デニムとともに歴史を刻んできたリーバイ・ストラウス ジャパン株式会社(東京都渋谷区)では、2010年春のブランドキャンペーン「I'm Levi's®」を展開し、2010年6月3日(木)、本キャンペーンキャラクターである俳優の森山未来、菊地凜子2名による二人芝居を公演することとなりましたのでご案内申し上げます。
本キャンペーンは、ブランドの歴史と共に培ったクラフトマンシップに宿るスピリットを、キャンペーンキャラクターに俳優の森山未来、菊地凜子を起用し、表現しております。

自らのスタイルや「生き方」に強い自信を持つ二人を迎え、最も古いデニムブランドとしてのリーバイス®の価値や、ジーンズの誕生背景にあるワークスタイルを役者というワークスタイルと共に表現するものです。それはブランドとしての「原点」、つまりジーンズの基本であるという自信を表し、両者の「原点という生き方」は、今の世の中に欠けつつある大切な、そして失ってはいけない価値について問いかけるメッセージです。

そして今回、この「原点という生き方」をテーマとして、森山未来、菊地凜子の二人による、舞台を公演いたします。演出家には映像の脚本やコラムなどで精力的に活動し、2004年には『ワンマン・ショー』で第48回岸田國士戯曲賞も受賞したことで各方面から熱い注目を浴びている日本演劇界の気鋭の倉持裕(くらもち ゆたか)氏を向かえ、演じるという役者としての原点と、ワークスタイルの原点であるデニムを組み合わせ、リアルな二人芝居を展開いたします。

概要



■日程: 6/3(木)19:00 開場 20:00 開演

■会場: 東京グローブ座(新宿・新大久保最寄)

■脚本: 倉持裕(くらもち ゆたか)

■チケット発売: 5月15日(土)より

Levi's® Store 渋谷店/原宿店/Levi's® Official Online Shop(www.e-levi.jp)にて、¥10,000 以上商品お買い上げのお客様に先着で250組500名様にプレゼント。

※チケット販売に関するご掲載は、5/1(土)以降でお願いいたします。

■6/3(木)のドレスコード: Levi's® ジーンズ

このビジュアルをそのまま使用/転載することはしないで下さい。
データをご用意しておりますので、素材をご入用の際はご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ先> リーバイス® 広報事務局 (株)プラチナム内 : 永井/山田
TEL:03-5572-6071 FAX:03-5572-6075 Mobile:090-7090-3360(永井)
MAIL: m-nagai@vectorinc.co.jp(永井)



Print Ad Story

本物の役者として評価の高い森山未来さんと、菊地凜子さんが二人芝居「原点という生き方」を公演するにあたりその彼らの練習風景を題材とし撮影。

演じるとはどういうことなのか？

という役者としての原点を追求しながら練習している彼らの怖いくらいの真剣さ、ストイックさを強く出すため広告的演出なしのLIVE感あふれる手法で表現。

そうすることにより、ジーンズの原点であるリーバイス®にしかできない“本物”の表現に仕上がっています。

Cast

森山未来、菊地凜子

Product

Men's: Classic Levi's® Regular Fit Straight <502-0069>

Lady's: New RE Series Tight Straight <RE602-0002>

Location & Inside Story

撮影場所は、舞台練習のメッカ「新宿村スタジオ」。

森山未来さんと菊地凜子さんは、馴染み感のあるジーンズに白いTシャツ、さらには裸足というシンプルな姿で練習に臨みました。

今回の練習には、お互いに初対面で練習初回ということもあって、振付け家であり、ダンサーとして有名な康本雅子さん立会いのもとコンタクト・インプロヴィゼーション*によりコミュニケーションをとってもらいました。

集中力をあげていただくため、スタッフはその場に極力いないようにし役者2人と康本さんの3名で練習に入りました。

20分もすると、汗だくの2人が、自分と向き合いながら、相手のことも考えつつ動くコンタクト・インプロヴィゼーションは、非常に精神力と体力を消耗するそうです。

20分に1回休憩を入れながら撮影は続きました。動いている時は当然ですが、2人の「本物」たる所以は休憩時にも伺えました。休憩ごとに、精も根もつきはてて稽古場から出てくる2人でしたがその度に、2人はお互いの意見をぶつけ、どうすれば次の世界へと入り込んでいくかを真剣に話していました。

練習は、どんどん繰り返し行われます。ちらっと、その練習風景を覗くたびに体を使ったコミュニケーションが、本当に言葉を交わす以上に濃い、深い会話へと変化していきます。

康本さんは、「今まで見たことのない、コンタクト・インプロヴィゼーションですね。やっぱり本当にすごい役者さんがこれをやると、こんなにも情緒的で、こんなにも艶かしい。」とコメント。

2人のテンションが最高潮に達した時、康本さんは稽古場から退き、スチールカメラマンの鈴木心さんが中に入っていく、彼らの凄みに引き寄せられるかのように、鈴木さんもまた別の世界に引き込まれていきます。

3人の対話が始まりました。もちろん、休憩に入るときは3人とも汗だくで疲れ果てて稽古場から出てきます。その際も、次の世界に入り込むための意見が交わされていきます。

まわりで見ているスタッフは、ただただ圧倒されるばかりでした。

こうして、全ての撮影の行程を終了したのです。

*（人と人あるいは人と物とのコンタクトを動きのきっかけとして即興で踊るダンス。重力の法則に従い相手の力を自分の動きのエネルギーとする独特の手法。）

二人は、疲れていながらも周囲の人たちに気さくに話しかけたり

「こんなに楽しく、そして真剣に撮影できたのは初めてです。ありがとうございました。」とのコメントも。

Staffs

クリエイティブ・ディレクター/コピーライター: 小松 裕行 (K.K.H.K-brand design)

アート・ディレクター: 木原 雅也 (botan)

デザイナー: 斉藤 綾 (botan)

フォトグラファー: 鈴木 心 (KIKI)

スタイリスト: 北村 道子

ヘア&メイクアップ: 須賀 元子 (森山 未来)

宮田 やすし (菊池 凜子)

振付: 康本 雅子 (precog)

WEB制作: コロニーインタラクティブ



【CAST】



森山 未来

MIRAI MORIYAMA

1984年8月20日生まれ

AB型

身長/172cm

出身地/兵庫県

略歴

5歳からダンスを始める。ジャズダンス、タップダンス、クラシックバレエ、ヒップホップなどのダンスを始め、いくつかの舞台を踏み、99年「ボーイズ・タイム」(パルコ劇場他)で本格的に舞台デビューを果たす。

その後、多数の舞台経験を重ね、ドラマ「さよなら小津先生」、「ウォーターボーイズ」、「ラストクリスマス」など話題作に次々と出演。

舞台・ドラマと活躍する中、2004年『世界の中心で、愛をさけぶ』(行定勲監督)で、サクの高校生時代を好演しブルーリボン賞・新人賞、日本アカデミー賞・優秀助演男優賞、新人賞を総営にし、話題となった。

近年では、自身が主演するダンスライブの演出も自ら手がけるなど、俳優業だけでなく活躍の場を拡げている。

07年は、舞台「血の婚礼」、「キャバレー」、映画『スマイル 聖夜の奇跡』

(陣内孝則監督)、08年は、ドラマ「刑事の現場」(NHK)、スペシャルドラマ

「被取締役新入社員」(TBS)、映画『百万円と苦虫女』(タナダユキ監督)、

劇団☆新感線 SHINKANSEN☆RX「五右衛門ロック」、映画『20世紀少年』

(堤幸彦監督)、ミュージカル「RENT」、09年は映画『20世紀少年～第2章～最後の希望』

(堤幸彦監督)、『フィッシュストーリー』(中村義洋監督)、

舞台「メカロックオペラ R2C2」(宮藤官九郎作・演出)、ドラマ「リミット-刑事

の現場2-」、『20世紀少年～最終章～ぼくらの旗』(堤幸彦監督)、舞台

「ネジと紙幣」(倉持裕作・演出)、10年は阪神・淡路大震災15年特集ドラマ

「その街のこども」、舞台「変身」(スティーブン・バーコフ演出)がある。

ドラマ、映画、舞台と活動の幅をとどめない。



菊地 凜子

RINKO KIKUCHI

1981年1月6日生まれ

O型

身長/169cm

出身地/神奈川県

特技/馬術、日本舞踊、居合い、手話

略歴

1981年1月6日神奈川県出身

1999年に進藤兼人監督の「生きたい」でスクリーンデビュー。

その後、2007年には「BABEL」にて第79回米アカデミー賞、第64回ゴールデングローブ賞などに助演女優賞としてノミネートされるほか、同作品にて第16回米ゴッサム賞、米ナショナル・ボード・オブ・レビューの新人女優賞と米ムービーラインのブレイクスルー賞などを受賞する。